

平成21年1月27日

GGG 創立 30 周年記念事業

「木材腐朽菌モデル対策 現地検討会」を九州で開催

貴重な樹木に寄生し深刻な被害を与える木材腐朽菌対策の普及

近年、台風などの強風による倒木で、人身はもとより貴重な文化財や建物などが被害に遭うケースが発生しています。この樹木の枯損や衰退の大きな原因の一つに「木材腐朽菌(キノコ)」がありますが、残念ながら、わが国においては木材腐朽菌の研究があまり進んでいない現状にありました。

(社)ゴルフの緑化促進協力会(GGG 会長:児島仁、理事長:大西久光)は、創立30周年記念事業の一つとして、「安全対策・景観保持」の観点から本分野の調査・研究、その成果として「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」を発行(平成19年8月)してきたところですが、そのノウハウの普及を図るため1月23日(金)、九州で初めて「木材腐朽菌モデル対策現地検討会」を開催しました。本検討会は今回が第3回目(第1回:上尾市八枝神社、第2回:茨城県城里町)になり、当日は会場になった福岡市の鳥飼八幡宮に県内市町村の樹木管理関係者、樹木医、ゴルフ場関係者等約50名が参加しました。

鳥飼八幡宮は全国的に子安の御利益で知られ、九重部屋の九州場所宿舎としても有名で、福岡市の保存指定を受けているエノキとムクノキが現存します。

当日は、境内の参集館において西本GGG専務理事からの主催者挨拶に続いて九州電力松尾新吾会長(GGG理事・九州緑化促進協力会会長)から山内宮司に対し『福岡市鳥飼八幡宮エノキ及びムクノキ腐朽病害診断・対策報告書』の贈呈が行われ、その後樹木医会の白石支部長らによる報告の後、エノキ・ムクノキの診断と対策について樹木医による実演・解説が行われ参加者は地元の巨樹銘木等の保存に役立てようと熱心に見学していました。

なお、現地検討会の実施に当たっては、(財)日本緑化センター、(財)福岡県水源の森基金(緑の募金福岡県緑化推進事業委員会)、福岡市教育委員会、日本樹木医会福岡県支部のご協力を頂きました。

本件問合せ先

(社)ゴルフの緑化促進協力会 担当:西本、麻生

電話; TEL:03-3584-2838 FAX:03-3584-2847

木材腐朽菌モデル対策現地検討会の模様



会場の鳥飼八幡宮



診断・報告書を贈呈
(左：山内宮司 右：松尾理事)



参集館での報告会



白石支部長(右)から説明を聞く松尾理事(左)



樹木医による実演・解説



土壌改良の実演

木材腐朽菌モデル対策現地検討会のご案内

～ 貴重な樹木に寄生し、深刻な被害を与える木材腐朽菌対策の検討～



社団法人 ゴルファ - の緑化促進協力会
九州緑化促進協力会
財団法人 日本緑化センター

樹木の枯損や樹勢衰退の原因となるものに木材腐朽菌があります。この菌が幹や根の腐朽を進行させると、強風などによって、樹木や大枝が折れたり、根返りを起こし、生命や財産に深刻な被害を及ぼします。

この木材腐朽病害がソメイヨシノ、ケヤキ、スダジイなど、道路・公園・学校・寺社・ゴルフ場に植えられている緑化樹木に発生し、安全を脅かすものとして、近年樹木医などの診断・対策技術の中で最重要課題となっています。

(社)ゴルファ-の緑化促進協力会は創立30周年事業の一環として、(財)日本緑化センターに緑化樹木腐朽病害の実態調査を委託し、「緑化樹木腐朽病害ハンドブック - 木材腐朽菌の見分け方とその診断」を発刊いたしました。

このハンドブックを、現場における技術書として活用を図るとともに、木材腐朽菌について広く関係者の方々に理解を深めて頂くため、平成20年度に福岡県福岡市においてエノキとムクノキの診断と必要な対策に資することを目的に、現地検討会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

1. 日時 平成21年1月23日(金) 13:00～16:30
2. 場所 福岡県福岡市中央区今川2丁目1-17 鳥飼八幡宮境内
3. 内容

12.30～	受付
13.00	1)開会の辞 西本敏雄:(社)ゴルファ-の緑化促進協力会専務理事
13.10～13.20	2)「福岡市鳥飼八幡宮エノキ・ムクノキ診断・対策報告書」の贈呈 九州緑化促進協力会会長/(社)ゴルファ-の緑化促進協力会理事 松尾新吾より 鳥飼八幡宮宮司へ
13.20～14.20	3)エノキ・ムクノキの診断と対策 白石 眞一:日本樹木医会福岡県支部長
14.30～16.30	4)診断と対策の解説(エノキ・ムクノキ植栽場所へ移動) エノキ・ムクノキに加害する木材腐朽菌の腐朽状況、土壌断面の観察、土壌改良の実演、 レジストグラフの実演などを樹木医等により解説・実施。

4. 問合せ・参加申し込み先 (財)日本緑化センター
担当:緑化技術部主幹 瀧
Tel:03-3585-3561 Fax:03-3582-7714 e-mail:taki@jpgreen.or.jp

主催 (社)ゴルファ - の緑化促進協力会
共催 九州緑化促進協力会、(財)日本緑化センター
協力 (財)福岡県水源の森基金(緑の募金福岡県緑化推進事業委員会)、
福岡市教育委員会、日本樹木医会福岡県支部

検討会参加予定者:

樹木医(日本樹木医会九州地区協議会構成会員)
福岡県及び福岡市緑化推進関係職員、街路樹診断協会九州支部会員、
国土交通省福岡国道事務所職員、ゴルフ場のグリーンキーパーなど約50名。

[会場案内図]

地下鉄空港線、唐人町下車、徒歩6分。



(参考1)

社団法人 ゴルファーの緑化促進協力会の概要

(ゴルフ界の社会貢献活動の一翼を担う公益法人)

1. 設立と目的

昭和51年(1976年)9月、環境庁(現:環境省)許可の公益法人として設立。ゴルフ場のご協力を得て、ゴルファーの方々から緑化協力金(1人1日50円)を募り、学校・病院・福祉施設など社会公共施設を中心とした緑化、環境保全事業を推進。

2. 主な役員

会 長： 児島 仁 (NTT 特別顧問)
理 事 長： 大西久光 (株)ターゲットパートナー代表)
専務理事： 西本敏雄

主な収益 (H19年度 約2億円。 緑化協力金等の累計 99億円)
(ご協力頂いたゴルフ場 366ゴルフ場)

ゴルファーの方々からの善意の緑化協力金
企業・団体・個人からの寄付金
ホールインワン保険等からの個人の寄付金

3. 主な事業 (19年度末まで)

地方緑化事業：全国の小中学校・病院・福祉施設等公共施設への植樹
(累計、7980箇所へ189万本) 各県緑化推進委員会等に委託

全国緑化事業：全国的な環境緑化・環境保全

松枯れ対策：抵抗性松苗木の研究・配布、松島・佐渡等の松枯れ対策支援、
(平成19年度末の抵抗性松苗木配布累計本数：31万本突破)

校庭の芝生化：神戸市、大阪府の小学校等モデル事業の支援、『校庭芝生化のすすめ』
発刊・寄贈、『GGG校庭芝生コンサート』を開催。

生物多様性保全：世界自然遺産屋久島の“ヤクタネゴヨウ”松、小笠原の絶滅
危惧動植物、現在、南アルプス・八ヶ岳地方の銘木「ヒメバラモミ」の
救済を支援

安全・景観保持：千葉県東金市八鶴湖での「サクラてんぐ巣病対策モデル事業」の実施、
木材腐朽菌病対策の研究助成、『緑化樹木腐朽病害ハンドブック』発刊・
寄贈。

森林・里山整備：全国の保健保安林の活用モデルとして東京都裏高尾の木下沢で『心を育
むこげさわの森』整備事業を実施。

環境教育の支援：「マツとあそぼう」「学校の樹木と土を元気にしよう」
「マツに親しもう」などの冊子の発行

復興植樹：雲仙普賢岳被災地の「さくらパーク」に復興植樹

都市の防災モデル植樹：練馬区大泉中学校へのモデル植樹

酸性雨対策：実態調査と出版

国立公園内の自然保護 NGO 活動の支援